

令和4年度

事業報告

自：令和 4 年 4 月 1 日

至：令和 5 年 3 月 31 日

社会福祉法人かほく市社会福祉協議会

1. 会務・組織の運営

(1) 組織運営・職員体制の強化

1) 理事会・評議員会の開催

① 理事会

- ・ 6月 3日 (金) 第1回理事会
- ・ 12月 16日 (金) 第2回理事会
- ・ 3月 20日 (月) 第3回理事会

② 評議員会

- ・ 6月 24日 (金) 第1回評議員会 (定時評議員会)
- ・ 12月 27日 (火) 第2回評議員会
- ・ 3月 28日 (火) 第3回評議員会

2) 評議員選任・解任委員会の開催

- ・ 6月 14日 (火) 第1回委員会

3) 会計監査の実施

- ・ 5月 26日 (木) 事業等監査会

4) 各種研修会等への参加による役職員の資質及び知識の向上

県社会福祉協議会等が主催する研修会及び職能団体等が主催する勉強会等に積極的に参加した。

5) リスク管理やコンプライアンスに関する管理体制の整備

① 職員就業規則の改正

働き方改革関連法の施行に伴い、ワークライフバランス、雇用環境整備等について社会保険労務士の助言を受けながら職員就業規則を改正した。

内 容 育児・介護休業等に関する規程、ハラスメントの防止に関する規程、在宅勤務に関する規程、ストレスチェックに関する規程、インフルエンザ等の予防接種に関する規程、研修に関する規程、副業・兼業に関する規程

② 男女共同参画の推進

ア. 事務所内男女共同参画推進連絡会

開催日 7月 7日 (木)
2月 20日 (月)

イ. 男性の育児休業取得応援セミナー

開催日 7月 4日 (月)
9月 12日 (月)

(2) ⑧社協発展・強化計画の策定

将来のビジョンを明らかにし、取り組むべき重点課題を定め、それらを計画的に取り組めるよう具体的方法を定める中期計画について策定委員会を設置した。

- ・10月20日（木） 第1回委員会
- ・11月24日（木） 第2回委員会
- ・3月15日（水） 第3回委員会

（3）関係機関との連携強化

1）各種会議・協議会への参画

- ① 高齢者関係
 - ・かほく市介護保険運営協議会
 - ・かほく市地域包括支援センター運営協議会
 - ・かほく市地域密着型サービス運営協議会
- ② 障害児・者関係
 - ・かほく市地域自立支援協議会
- ③ 虐待関係
 - ・かほく市高齢者及び障害者虐待防止協議会
- ④ 子育て関係
 - ・かほく市子ども・子育て会議
- ⑤ 自殺対策関係
 - ・かほく市自殺対策推進委員会

2. 地域福祉推進事業の充実

（1）地域福祉推進事業の充実

1）第19回かほく市社会福祉大会の開催

- 開催日 11月8日（火）
- 場 所 七塚健康福祉センター
- 参加者 46名（市内福祉関係者等）
- 内 容 式典 会長表彰36名・2団体

2）社会福祉法人連絡会の開催

- ① 第1回委員会
 - 開催日 10月28日（金）
 - 内 容 法人連携による「地域における公益的な取組」の検討
- ② 小中学校等に対する福祉教育プログラム検討会
 - ・第1回検討会
 - 開催日 2月24日（金）
 - 内 容 小中学校に対する福祉教育プログラムについての意見交換

3）生活支援コーディネーターの配置（市受託事業）

介護保険法に基づく生活支援体制整備事業として、地域において日常生活の総合的かつ一体的な支援体制の整備を促進するため、生活支援コーディネーターを配置。

① 階層別生活支援コーディネーターの配置

ア. 第1層生活支援コーディネーター

担当区域 かほく市全域

イ. 第2層生活支援コーディネーター

担当区域 宇ノ気中学校、河北台中学校及び高松中学校区域

② 協議体（かほく市高齢者支援ネットワーク会議）の開催

開催日 2月3日（金）

場 所 七塚健康福祉センター

参加者 6名

内 容 訪問等活動で得た情報やアンケート調査結果を踏まえた意見交換

4) 福祉交流事業

① パラスポーツ体験会

開催日 3月23日（木）

場 所 七塚健康福祉センター

参加者 25名（福祉団体 2団体 13名、福祉事業所 3事業所 10名、その他 2名）

内 容 パラスポーツ3競技（室内アーチェリー、バグゴ、ラダーゲッター）の体験

指導 石川県アーチェリー協会、石川県障害者アーチェリークラブ、石川県障害者スポーツ協会、石川県障がい者スポーツ指導者協議会

手話通訳 石川県聴覚障害者センター

② 聴覚障害者等を対象とした生活教室

ア. 生活教室「終活セミナー」

開催日 3月2日（木）

場 所 七塚健康福祉センター

参加者 9名

内 容 講義「人生100年に向けての研修会

～ 人生100年時代をより良く生きるための準備 ～

講師 北島行政書士事務所 北島一治氏（石川県行政書士会）

手話通訳 石川県聴覚障害者センター

5) 「地域のお茶の間」活動の推進

① 地域のお茶の間活動推進事業

期 間 1～3月

対 象 お茶の間活動代表者 23名

内 容 新型コロナウイルス感染症対策の参考となるガイドブックを配付

② 地域のお茶の間活動支援事業（助成事業）

・助成件数 9件 110,000円

[内訳]

種 別	件数	助成額
設立・運営支援助成	1 件	30,000 円
活動支援助成	8 件	80,000 円

③ 地域のお茶の間活動実態調査事業

- ・調査実施数 24 活動

[内訳]

区 分	活動数
活動中の活動	12 活動
休止中の活動	10 活動
廃止となった活動	2 活動

6) 地域づくりに対する相談対応・支援

- ・相談件数 26 件

[内訳]

区 分	件数
地域のお茶の間活動関連	4 件
子ども食堂関連	10 件
地域活動関連（地域のお茶の間活動、子ども食堂を除く）	3 件
趣味サークル活動関連	0 件
当事者グループ・団体関連	1 件
市民活動グループ・団体関連	1 件
社会貢献活動関連	2 件
その他	5 件

- ・相談対応回数 70 回

7) 福祉用具等の貸出

① 用具貸出件数 87 件 23 用具

[内訳]

区 分	用具種別	貸出件数
学習関連	1 用具	3 件
健康関連	0 用具	0 件
レクリエーション関連	6 用具	43 件
娯楽関連	11 用具	18 件
機器関連	4 用具	22 件
その他	1 用具	1 件

② 車いす貸出件数 60 件

(2) 共同募金配分金の活用

1) 各種福祉団体等への助成

- ・福祉団体 6 団体 480,000 円

2) 歳末見舞金の贈呈

- ・施設・病院利用者 440 名 2,200,000 円
- ・在宅対象世帯 163 件 815,000 円

3) 福祉施設利用者のためのレクリエーション用具贈呈事業

- ・対象事業所 市内 30 事業所
- ・贈呈実績 市内 26 事業所 (4 事業所申請辞退)
- ・内 容 30,000 円を上限としてレクリエーション用具を贈呈

4) 地域のニーズに応じた事業の展開

① 高齢者世帯訪問事業

歳末の時期に合わせて、民生委員が協力のもと、高齢者世帯へ訪問し日常用品を渡すことで見守り活動の一助とした。

- ・訪問世帯 930 世帯

3. 福祉教育とボランティア活動の推進

(1) 福祉教育の推進

1) 福祉教育の機会の提供

① 小中学校における福祉教育の提案、講師調整等

ア. 小学校

・大海小学校

実施日	内 容	対象学年
10 月 3 日 (月)	介助犬との暮らし	4 年生

・高松小学校

実施日	内 容	対象学年
10 月 14 日 (金)	車イスでの生活について	4 年生
11 月 14 日 (月)	盲導犬との暮らし	
11 月 28 日 (月)	車イスバスケットボール体験	
11 月 30 日 (水)	耳の不自由な人の立場から	

・七塚小学校

実施日	内 容	対象学年
10 月 28 日 (金)	盲導犬との暮らし	4 年生
11 月 11 日 (金)	車イスバスケットボール体験	
11 月 18 日 (金)	耳の不自由な人の立場から	

・外日角小学校

実施日	内 容	対象学年
10月26日(水)	盲導犬との暮らし	4年生
11月2日(水)	耳の不自由な人の立場から	
11月9日(水)	ブラインドサッカー体験	
11月25日(金)	車イスでの生活について	

・金津小学校

実施日	内 容	対象学年
10月11日(火)	盲導犬との暮らし	4年生
11月11日(金)	車イスバスケットボール体験	
11月24日(木)	耳の不自由な人の立場から	
12月6日(火)	車イスでの生活について	

・宇ノ気小学校

実施日	内 容	対象学年
7月4日(月)	盲導犬との暮らし	4年生
10月17日(月)	介助犬との暮らし	
11月16日(水)	耳の不自由な人の立場から	

イ. 中学校

・河北台中学校

実施日	内 容	対象学年
6月24日(金)	総合的な学習「福祉学習」視覚障がいについて	2年生
7月7日(木)	地域防災学習 避難所運営ゲーム HUG	1年生

② 地域住民を対象とした福祉意識向上のための講座

ア. 親子パラスポーツ体験会

開催日 9月3日(日)

場 所 宇ノ気南部体育館

参加者 9名(親子 3組)

内 容 説明 障がいの者の日常生活

体験 車いすバスケットボール、福祉車両

講師・指導 岩崎大輔 氏、ほか1名(Jamane 石川)

2) 青少年・学生ボランティアの育成

① ジュニアボランティア体験事業(小学生)

ア. 赤ちゃんとのふれあい体験

開催日 7月23日(土)

場 所 愛遊館

参加者 2名（市内小学校5年生）
内 容 未就園児への読み聞かせや手あそび 等

② ジュニアボランティアサークル（中学生）

ボランティア活動をとおして地域とのつながりを深め、中学生自身が主体となった社会参加を推進し、思いやりのこころを育むことを目的に活動。

・ジュニアボランティアサークル絆（高松中学校）

メンバー数 8名

ミーティング 10回（毎月1回）

活動回数 19回

内 容 ランドセルプロジェクトへの協力、地域のお茶の間活動（内高松）での活動、学園台寺小屋（学びの場）での活動、大海学童保育クラブ及び高松学童保育クラブでの活動、赤い羽根共同募金活動 等

・ジュニアボランティアサークル myan[みゃん]（河北台中学校）

メンバー数 14名

ミーティング 9回（毎月1回）

活動回数 11回

内 容 ヘルプマーク周知活動、放課後児童デイサービスチェンジA.での活動、あいさつ運動、赤い羽根共同募金活動 等

・ジュニアボランティアサークル助け隊（宇ノ気中学校）

メンバー数 28名

ミーティング 11回（毎月1回）

活動回数 33回

内 容 宇ノ気第1・2学童保育クラブ及び宇ノ気南部学童保育クラブでの活動、デイサービスセンターあいおい利用者とのオンライン交流、赤い羽根共同募金活動 等

③ 高校生ボランティアサークル

高校生がボランティア活動を通じて地域とつながる機会を持つことで、自身の住んでいる地域に目を向け、地域課題に気づき解決を試みる意識・行動を醸成することを目的とした。

・メンバー数 14名

・ミーティング

開催回数 6回

場 所 七塚健康福祉センター

内 容 活動計画、活動ふり返り 等

・活動回数 30回

[内訳]

区 分	回数
海浜清掃	1回
かほつくる桜まつり	1回
小中高校生と考える防災（県立看護大学主催）	1回
親子パラスポーツ体験会ボランティア	1回
ボランティア交流広場	1回
いきいきステーションスマホ教室	1回
PR活動（SNSでの発信）	24回

④ 学生ボランティアサークル

学生が主体的におこなう社会貢献活動に対して必要な支援をおこなう

- ・メンバー数 6名
- ・活動実績 7回
- ・内 容 放課後児童デイサービスチェンジA.での活動等

(2) ボランティア活動の推進

1) ボランティア活動の基盤整備、コーディネート機能の強化

① ボランティアのコーディネート

- ・登録数 団体 63団体 個人 3名
- ・相談、調整

[内訳]

区 分	相 談	コーディネート
ボランティア希望	7件	5件
ボランティア依頼	15件	9件
そ の 他	24件	—
合 計	46件	14件

② ボランティア活動保険の加入促進

ア. ボランティア活動保険加入等状況

区 分	加入数	保険金請求
ボランティア活動保険	863名	3件
ボランティア行食用保険	3件	0件

イ. 助成金請求事務

- ・ボランティア活動保険 162,600円

③ 企業の社会貢献活動の推進

- ・実 績 1社
- ・内 容 地域貢献活動等の相談

④ サポートボランティアのコーディネート

各種養成講座等を受講し、当事者に寄り添ったより専門的な活動を行うボランティアの登録、相談、調整。

ア. お話し相手ボランティア

- ・登録者 18名
- ・相談、調整

区 分	件数
相談	3件
コーディネート	0件

- ・活動先 7件

区 分	件数	回数
個人宅訪問	2件	21回
施設訪問	5件	10回

2) ボランティア連絡協議会の運営支援

① かほく市ボランティア連絡協議会の運営支援

- ・加盟数 18団体
- ・総 会
開催日 5月21日(土)
場 所 高松産業文化センター
参加者 35名
内 容 事業報告及び事業計画

- ・役員会
開催回数 2回

- ・研修会
「zoom研修会」
開催日 10月18日(火)
参加者 10名

② ボランティア交流広場の共催

ア. ボランティア交流広場 2022～つなごうボランティア広げようまちづくり～

- 開催日 12月10日(土)
- 場 所 高松産業文化センター
- 参加者 79名(市内ボランティア団体会員及び中学生、高校生、大学生)
- 内 容 ボランティア活動紹介(10団体・グループ)
情報交換会

テーマ「ボランティア活動を継続するために成し得ること」
合唱・手話「花は咲く」(全員参加)

イ. 実行委員会

- ・開催回数 3回
- ・実行委員 6名（ボランティア連絡協議会理事）

③ 河北地域ボランティア連絡会への参画・運営協力

ア. 総会・役員会

- ・開催回数 2回

イ. 交流会

- 開催日 11月19日（土）
- 場 所 内灘町文化会館
- 内 容 講義「災害に備える～避難所で何ができるか～」
講師 北陸学院大学 教授 田中純一 氏

3) 情報提供

① 民間助成団体による助成情報の周知・申請手続きの協力

種 別	周知	申請	決定
石川県社協ボランティア活動機器・備品等助成	18件	1件	1件
北國愛のほほえみ基金	7件	1件	0件

(3) ボランティア養成事業の開催

1) ニーズに対応した各種養成講座等の開催

① お話し相手ボランティア連絡会の開催

お話し相手ボランティア活動者が、情報交換、意見交換を通じて各々のスキルアップにつなげる場として開催。

- ・開催回数 6回
- ・登 録 者 18名

(4) 災害ボランティアセンター運営体制の整備

1) 災害ボランティアセンター運営訓練

かほく市防災訓練において、かほく市地域防災計画に位置づけられている災害ボランティアセンターについて、運営マニュアルに基づいた検証を行い、災害ボランティアセンターが有機的に機能し効率的な運営につなげることを目的に実施。

- 開催日 8月21日（日）
- 会 場 高松産業文化センター
- 参加者 36名（かほく市社会福祉協議会職員、ボランティア活動者）
- 内 容 災害ボランティアセンター運営手順確認
講師 日本赤十字社石川県支部
防災ボランティアリーダー 北村裕一 氏

(5) 助成事業

- 1) 児童・生徒のボランティア活動普及事業の推進・活動助成
 - ・助成実績 市内小学校 6校 278,000円
 - 市内中学校 3校 192,000円
- 2) ボランティア団体等への活動支援及び助成
 - ・助成実績 ボランティア団体 6団体 110,000円

(6) 収集活動への協力

- 1) プルタブ
 - 寄贈量 52kg
 - 内 容 リサイクル業者で換金し積立
- 2) 使用済みインクカートリッジ
 - 回収ボックス設置場所 5カ所
 - 内 容 県社会福祉協議会ボランティア活動基金への協力
- 3) 古切手・ベルマーク
 - 内 容 市内収集ボランティアグループへ寄贈

4. 総合的な相談機能・支援体制の充実

(1) 総合相談機能の充実

- 1) 福祉なんでも相談の実施
 - ・件 数 35件

[内訳] ※ 初回及び匿名の相談受付件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
件数	5件	4件	7件	2件	2件	1件	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	3件	0件	4件	4件	2件	1件	35件

(2) 支援体制の充実

- 1) 地域見守りネットワークの強化

地域の見守り活動を担う民生委員児童委員や地域福祉推進員で構成する地域福祉推進チームとの連携を強化し、ネットワークの充実を図った。

- ① 地域福祉推進チーム連絡会への支援
 - ・支援回数 2回
- ② 地域福祉推進員活動支援
 - ・地域福祉推進員数 207名 (R5.3.31現在)

③ つながり仕掛隊の派遣

自治会や自主防災会が開催する防災・減災活動等へ、社協職員を派遣し地域の防災力の向上とつながりづくりをすすめた。

・宇野気区

開催日	10月2日(日)
場 所	宇野気区公民館
内 容	災害時に発揮するコミュニティの力 災害ボランティアセンターを知っていますか

(3) 利用者保護の苦情解決事業

「社会福祉法人かほく市社会福祉協議会が行う福祉サービスに関する苦情解決」の円滑な運営を図った。

- ・受付件数 0件
- ・苦情解決第三者委員会開催 1回

5. 生活困窮者等に対する自立支援

(1) 生活困窮者自立支援制度に係る各事業の受託

1) 自立相談支援事業(くらし再建支援センターかほく)の運営(市受託事業)

- ・相談受付件数 25件
うち、利用申込(関係機関との情報共有同意含む) 23件
- ・支援調整会議
開催回数 5回
内 容 プラン策定件数 7件(再プラン含む)
プラン評価件数 6件
- ・相談支援継続件数 189件(R5.3.31現在)

2) 就労準備支援事業の運営(市受託事業)

就労に向けた社会的自立のための準備段階として、生活リズムの矯正や社会性の構築を目的として生活困窮者等を対象に実施。また、生活保護制度における就労準備支援事業と一体的に実施。

- ・相談受付者数 1名
- ・就労準備支援プログラム実施者数 2名
うち、新規申込者人数 1名
- ・就労準備支援プログラム作成件数 1件
- ・プログラム実施回数 150件
[内訳] 日常生活自立支援 89件
社会生活自立支援 22件
就労自立支援 39件

3) 家計改善支援事業の運営（市受託事業）

家計に課題を抱える相談者とともに、相談者自身の家計を管理する力を高め、生活が再生されることを目的として生活困窮者等を対象に実施。また、生活保護制度における家計改善支援事業と一体的に実施。

- ・相談受付け数 4名
- ・家計再生プラン実施者数 5名
うち、新規申込者人数 4名
- ・家計再生プラン作成件数 5件
- ・プランによる支援実施回数 50件

(2) 資金貸付事業の実施

1) 生活福祉資金（県社会福祉協議会）

- ・相談件数 26件
 - ・申請件数 2件（うち、決定件数 2件）
- [内訳]

資金の種類	R4 受付		総額 (R5. 3. 31 現在)		
	件数	貸付金額	貸付元金	残高	件数
総合支援資金	0件	0円	6,689,109円	5,489,189円	15件
福祉資金	2件	400,000円	1,274,000円	804,210円	11件
教育支援資金	0件	0円	4,317,000円	2,713,310円	7件
離職者支援資金	総合支援資金へ移行		2,400,000円	2,132,270円	1件

2) 新型コロナウイルス感染症の影響による特例貸付（県社会福祉協議会）

- ・申請件数 24件（うち、決定件数 24件）
- [内訳]

資金の種類	R4 受付		総額 (R5. 3. 31 現在)	
	件数	貸付金額	貸付元金	件数
緊急小口資金	16件	2,840,000円	29,985,000円	159件
総合支援資金	8件	3,750,000円	113,810,000円	213件

3) たすけあい金庫

- ・年度末金庫総額 6,465,057円 (R3末 6,472,557円-徴収不能額 7,500円)
- ・相談件数 19件

	R4 受付		未償還額 (R5. 3. 31 現在)		
	件数	貸付金額	貸付元金	残高	件数
当該年度分	12件	320,000円	130,000円	73,500円	5件
前年度以前分			520,000円	119,000円	6件

(3) 生活困窮者一時支援事業

日常生活が経済的にひっ迫しており緊急の支援を要する住民に対して、公的扶助等による安定した生活を確保するまでの空白期間を一時的に支援する。

件数 6件（実人数9名）

内容 約3日分の非常食等の提供

6. 権利擁護事業の推進

(1) 権利擁護に係る相談窓口の開設

権利擁護、福祉サービス利用支援、生活相談

- ・相談対応回数 8回
- ・初回相談経路

区分	件数
市役所・福祉事務所・障害・高齢者支援センター	3件
ケアマネジャー	2件
相談支援専門員	1件
親族	1件
一般	1件

(2) 福祉サービス利用支援事業（日常生活自立支援事業）の実施（県社会福祉協議会受託事業）

1) 実績

	高齢者	知的障害	精神障害	計
前年度末契約者数 ①	13名	9名	19名	41名
新規契約者数 ②	0名	0名	0名	0名
解約者数 ③	0名	1名	1名	2名
当該年度末契約者数 ④=①+②-③	13名	8名	18名	39名
当該年度利用者数 ⑤=①+②	13名	9名	19名	41名
支援回数	320回	164回	440回	928回

2) 支援体制

- ・専門員 2名（生活支援員兼務）
- ・生活支援員 19名（社協職員 5名、その他 14名）

3) 支援体制の充実

① 専門員の研修及び会議への参加

ア. 基幹的社協専門員連絡会議（県社会福祉協議会主催）への参加 3回

② 生活支援員に対する研修の開催及び参加

ア. 生活支援員研修会（県社会福祉協議会主催）（オンライン）

開催日 2月 2日（金）

参加者 4名

内 容 精神障害のある方への関わり

(3) 権利擁護研修会の開催

地域に対して、広く権利擁護についての理解促進を図るため開催。

開催日 3月 30日（木）

場 所 七塚健康福祉センター

参加者 25名（地域福祉推進員）

内 容 テーマ「意思を尊重し権利を守るしくみ」

講師 松本法務法律事務所 弁護士 松本亘市 氏

(4) 法人後見事業の実施

1) 受任者数

・累計件数 8件

・受任状況

	後見	保佐	補助	計
前年度末受任件数 ①	5名	0名	0名	5名
新規受任件数 ②	0名	1名	0名	1名
終了件数 ③	1名	0名	0名	1名
当該年度末受任件数 ④=①+②-③	4名	1名	0名	5名
当該年度受任件数 ⑤=①+②	5名	1名	0名	6名

2) 支援体制

・専門員 2名

・後見支援員 4名 支援回数 166回

3) 法人後見運営委員会の開催

・第1回 開催日 2月 28日（火）

方 法 書面開催

出席者 7名

内 容 事業状況報告

4) 成年後見事業担当者の資質向上

① K-ねっと（権利擁護支援体制全国ネット）全国セミナー（オンライン）

開催日 3月2日（木）

参加者 1名

内容 テーマ「最後まで自分らしく」を支えていくために

～ 福祉関係者のための任意後見の基礎知識 ～

講師 日本司法支援センター（法テラス）本部

常勤弁護士 水島俊彦 氏 ほか

7. 訪問介護事業、居宅介護支援事業の円滑な運営

(1) 訪問介護事業

1) 訪問介護事業の実施

① 介護保険法指定事業

ア. 訪問介護事業 376件

イ. かほく市介護予防・日常生活支援総合事業 107件

② 障害者総合支援法指定事業

ア. 居宅介護事業 127件

2) 在宅福祉サービス事業の充実

① 高齢者サービス

② 母子サービス

③ 障害者サービス

ア. かほく市地域生活支援事業（市受託事業） 90件

[内訳] 移動支援事業（外出のための支援） 90件

3) 訪問介護員としての資質及び知識の向上、各種研修会等への参加

訪問介護員としての資質及び知識の向上のため、各種研修会等に参加。

(2) 居宅介護支援事業

1) 居宅介護支援事業 1,360件

2) 要支援、要介護認定調査受託事業 19件（県内17件、県外2件）

3) 介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント業務受託事業 267件

4) 介護支援専門員としての資質及び知識の向上、各種研修会等への参加

介護支援専門員としての資質及び知識の向上のため、各種研修会に参加。

(3) 福祉輸送事業

1) 介護輸送 301回

2) ケア輸送 32回

8. 各種情報提供及び広報の充実

- (1) 広報誌「社協だより (No. 47~49)」の発行
 - ・時 期 4月・8月・12月 (年3回発行)
 - ・発行部数 13,000部 (1回あたり)
- (2) ホームページの充実
 - ・更 新 随時
- (3) その他福祉情報の提供・啓発
 - ・各種事業案内等の随時発送

9. 各福祉団体への活動支援

- ・かほく市民生委員児童委員協議会
- ・高松地区民生委員児童委員協議会
- ・七塚地区民生委員児童委員協議会
- ・宇ノ気地区民生委員児童委員協議会
- ・かほく市赤十字奉仕団
- ・高松地区ボランティア友の会
- ・七塚地区ボランティア友の会
- ・宇ノ気地区ボランティア友の会
- ・かほく市老人クラブ連合会
- ・高松地区老人クラブ連合会
- ・七塚地区老人クラブ連合会
- ・宇ノ気地区老人クラブ連合会
- ・かほく市遺族会
- ・かほく市遺族会高松支部
- ・かほく市遺族会七塚支部
- ・かほく市遺族会宇ノ気支部
- ・かほく市身体障害者福祉協会
- ・かほく市脳卒中リハビリ友の会
- ・かほく市手をつなぐ育成会
- ・かほく市母子寡婦福祉会

10. 共同募金運動への協力

- (1) 赤い羽根共同募金運動
 - ・運動期間 10月1日から12月31日まで
 - ・募金実績額 2,009,531円
- (2) 歳末たすけあい運動
 - ・運動期間 12月1日から12月31日まで
 - ・募金実績額 4,687,743円

11. 会員会費制の充実

- ・ 一般会員 各世帯 2,541,400 円 (全 55 区・町会)
- ・ 特別会員 89 名 89,000 円
- ・ 賛助会員 26 件 260,000 円